

読書のすゝめ

その17 H30 6/25

桜芳祭 ～ 図書委員会活動報告

6月16日の一般公開ではたくさんの方が図書委員会のコーナーに立ち寄り、古雑誌やしおりを買って求めてくださいました。
(販売数は**古本・古雑誌が138冊**、**しおりは119枚**です。)
活動報告のPOPは、ご覧いただけただけでしょうか？9月の文学散歩に向けて、富岡製糸場関連の展示をしましたが、これから関連書籍を調べ、参加者がより深く学べるように「しおり」を作ることを検討していきたいと思えます。



芥川賞・直木賞候補作品発表！

日本文学振興会は第159回芥川・直木賞の候補作を発表しました。両賞合わせ、11人中6人が初めてのノミネート。選考会は7月18日です。直木賞候補作品については、7月中旬には図書館に揃う予定です。(現在湊かなえの『未来』は入っています！)



【芥川賞】

- ▽古谷田奈月「風下の朱」(早稲田文学初夏号)
- ▽北条裕子「美しい顔」(群像6月号)
- ▽松尾スズキ「もう『はい』としか言えない」(文学界3月号)
- ▽高橋弘希「送り火」(文学界5月号)
- ▽町屋良平「しき」(文芸夏号)

【直木賞】

- ▽上田早夕里「破滅の王」(双葉社)
- ▽窪美澄「じつと手を見る」(幻冬舎)
- ▽本城雅人「傍流の記者」(新潮社)
- ▽木下昌輝「宇喜多の楽土」(文芸春秋)
- ▽島本理生「ファーストラヴ」(文芸春秋)
- ▽湊かなえ「未来」(双葉社)

芥川賞・直木賞って何？

- (1) 芥川賞と直木賞は、どちらも同名の作家の名前に由来した賞です！文藝春秋社の社長だった菊池寛が、1985年に創設した文学賞です。賞の名前は、彼の友人であり、文藝春秋社の看板雑誌『文藝春秋』の発展に貢献した作家、**芥川龍之介**と**直木三十五**の名前に由来しています。これらは毎年2回、同時期に選考委員会によって受賞作品が選ばれます。
 - (2) 芥川賞は、無名の新人作家が書いた「純文学」作品の中から選ばれます。
 - (3) 直木賞は、無名の新人または中堅作家が書いた「大衆文学」作品の中から選ばれます。
- どちらも優れた文学作品を称える賞ですが、その違いは選考の対象となる作品の種類です。芥川賞の対象となるのは、無名の新人作家が発表した「純文学」の短編・中編作品で、直木賞は、無名の新人または中堅作家が発表した「大衆文学」の短編および長編作品となります。「純文学」というのは、芸術性や形式を重視した小説のことです。そして「大衆文学」というのは、娯楽性や商業性の強いエンターテインメント小説のことです。